

10月1日に「湖水循環（曝気）装置」の稼働を停止  
します  
～今年も「水質改善効果」が得られました～

浅瀬石川ダム管理所では、平成24年9月に発生した水道水異臭味「かび臭」の発生抑制に向けた緊急対策施設として湖水循環（曝気）装置4基を平成25年7月に設置しています。

平成26年12月18日に開催した「第5回浅瀬石川ダム水質保全対策検討委員会」において、恒久対策の湖水循環装置は3基稼働でも効果が得られる（水温予測シミュレーション）結果となったことから、平成27年は、3基稼働で6月1日から運転を開始してきましたが、10月1日9時00分をもって運転を停止しますのでお知らせします。

平成27年の効果につきましては、12月に開催予定の委員会で評価いただきますが、表層水温および水温勾配は別添図のとおりです。

今年は、小雨、高温続きでしたが、かび臭原因藻類の増殖条件を概ね下廻っており、「水質改善効果」が得られました。

□ 平成27年度湖水循環（曝気）装置の運用

運転期間：平成27年6月1日9：00～10月1日9：00

（平成25年の運転期間：平成25年7月1日～10月16日）

（平成26年の運転期間：平成26年5月30日～9月30日）

運転時間：24時間連続運転

※発表記者会：弘前記者会、津軽新報社

○ 国土交通省 東北地方整備局 浅瀬石川ダム管理所  
黒石市大字板留字杉の沢2（TEL 0172-54-8782）  
管理所長 高橋 忠良  
専門職 林 秀治

# ■ 27年度 モニタリング状況

## <かび臭原因藻類の増殖適水温条件>

表層水温20℃以上



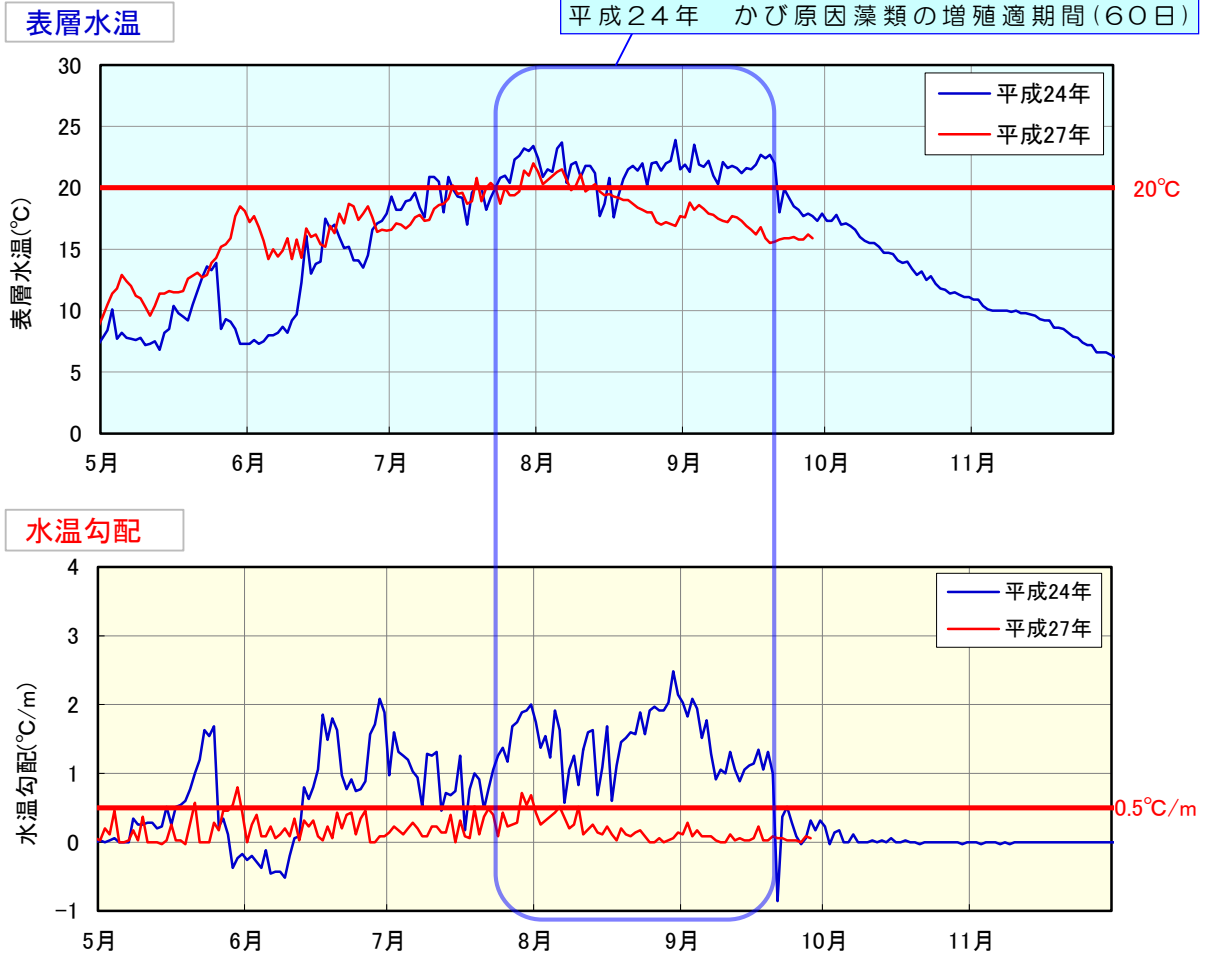
かび臭原因藻類は、表層の水温が15℃以上で出現し、20℃以上で活発に増殖する。

水温勾配0.5℃/m以上



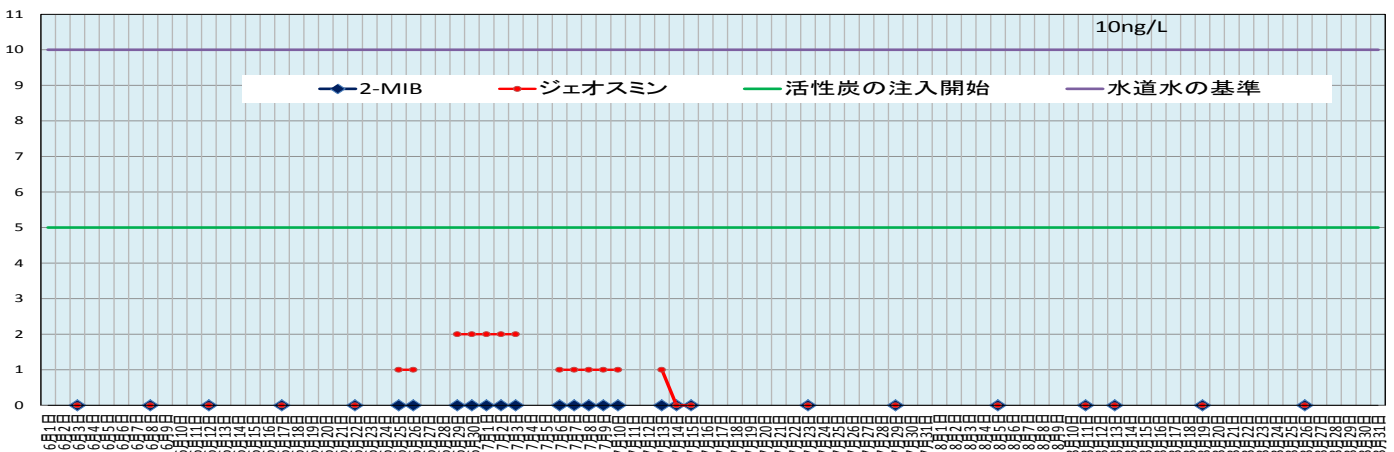
表層の水温勾配が0.5℃/m以上では、表層と下層の循環が抑制されかび臭原因藻類が表層の有光層に留まり活発に増殖する。

## <H27年5月～9月の状況>



## <臭気物質測定結果>

津軽広域水道企業団 原水臭気物質測定結果 (平成27年 6月1日～8月31日まで)



# 湖水旬間装置稼働状況

平成27年9月29日撮影

